

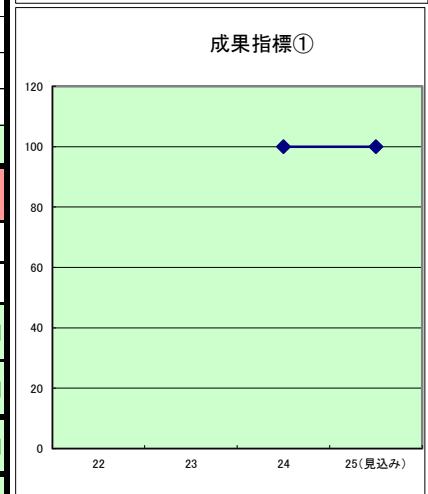
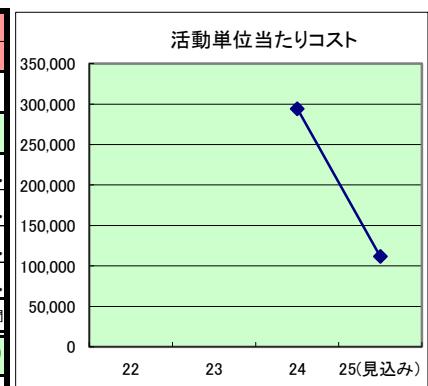
平成 25 年度 事務事業評価シート (平成 24 年度実施事業)

整理番号

都都01

事務事業名	屋外広告物の許可等事務			予算科目	会計		
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち		款		
本計画	施策(節)	8	住環境		項		
計画	施策の方向	(1)	景観形成の促進		目		
関連する計画等				事業			
				作成部署	都市開発部都市計画課		
				(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線 2571		
事業の概要(目的・内容)	<p>看板、広告塔などの屋外広告物は無秩序に放置されると、広告物が氾濫し、まちの美観や自然の風致を損なうことになるため、規制が必要となります。</p> <p>平成25年1月に大阪府より権限移譲を受け、事務処理を行う。</p> <p>・申請書受理・審査(約1週間程度)・手数料納入確認・許可書、許可証の交付</p>						
根拠法令等	大阪府屋外広告物条例、羽曳野市における大阪府屋外広告物条例施行規則						
事業期間	<input type="checkbox"/> 10 年以上 <input type="checkbox"/> 5 年以上10年未満 <input checked="" type="checkbox"/> 5年未満 (平成 24 年度開始)						
事業開始時からの状況変化							
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()						
委託先	<input type="checkbox"/> 市外郭団体委託 名称()			委託内容			
区分		22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込み)		

職員数	事業費【1】 (千円)			0	0		
	人件費【2】 (千円)	0	0	5, 589	5, 589		
	正規職員	人	人	0.81 人	0.81 人		
	再任用職員	人	人	人	人		
	嘱託職員	人	人	人	人		
	臨時職員	人	人	人	人		
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間		
	総事業費(【1】+【2】) 【A】 (千円)	0	0	5, 589	5, 589		
財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0	0		
	府支出金 (千円)	0	0	0	0		
	市債 (千円)	0	0	0	0		
	その他(使用料・手数料等) (千円)	0	0	395	608		
	一般財源 【B】 (千円)	0	0	5, 194	4, 981		
	活動指標 (事業の活動実績) 【C】 単位	22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)		
	① 申請件数	件		19	50		
	②						
	活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①)	円	円	294, 158 円	111, 780 円		
	活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】)	円	円	273, 368 円	99, 620 円		
	市民1人当たりコスト (【A】÷人口)	円	円	48 円	48 円		
	一般財源【B】の推移(前年度比)		#DIV/0! %	#DIV/0! %	▲ 4.1 %		
	※前年度比5%以上変動している 要因(該当する場合のみ☑)		□ 1. 制度改正・事業の見直しなど	□ 2. 左記1によらない対象件数などの増減			
	※該当項目すべてに☑		□ 3. 物価・賃金水準などの変動	□ 4. 国庫支出金など特定財源の増減			
			□ 5. その他()				



成績指標 (事業の達成度)	指標名		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	① 適正処理率 (式又は 説明)	申請に係る適正な事務処理	%	目標			100	達成率(%)		
					実績	目標			100.0%	
成績指標 (式又は 説明)	②			目標			100	達成率(%)		
					実績	目標				

市の 関与の 必要性	市の関与が必要な理由									評価 必要性 有
	1 法令上の 義務	2 受益者 が不特 定多数	3 最低限の 生活水準 を確保	4 市民の 不安を 解消	5 社会的 経済的 弱者を 対象	6 民間だけ では負担 しきれない	7 民間だけ では供給 不足	8 市の特色 等を市内 外へ発信	9 第三者に も受益 がある	
	○	○								

分析 ・ 評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当 なし	分析・評価の説明		
						市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない
妥当性	事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	□	□	☑	対象となる屋外広告物は府条例等で規定されている。	□	□	□
	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	□	□	□		□	□	□
	使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	□	□	□		□	□	□
	人員を削減する余地がない	□	□	□		□	□	□
	事業費を削減する余地がない	□	□	□		□	□	□
	国・府の事業や市の他事業と重複していない	□	□	□		□	□	□
	市との他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	□	□	□		□	□	□
効率性	民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	□	□	□	コストは審査から許可書発行までの事務の 人件費のみであるため、削減はできない。	□	□	□
	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	□	□	□		□	□	□
	成果指標の実績値は目標値以上である	□	□	□		□	□	□
協働性	成果指標は前年度より向上している	□	□	□	府条例、市施行規則に基づき適正に事務 処理を行った。	□	□	□
	申請内容の審査は正確性を確保し、より迅速かつ効率的に許可書の発行を行う。	□	□	□		□	□	□
有効性 達成度	総合評価	□ 繼 続	□ 改 善	□ 縮 小	□ 廃 止・休 止	□	□	□
	(概ね現行どおり継続して実施) (実施方法の改善を検討する) (事業規模の縮小を検討する) (廃止・休止を検討する)	□	□	□	□	□	□	□

担当部局評価	総合評価		評価理由・意見
	□ 繼 続	□ 改 善	
	□ 縮 小	□ 廃 止・休 止	
今後に向けて（取組方針・具体的な改善改革案など）		申請内容の審査は正確性を確保し、より迅速かつ効率的に許可書の発行を行う。	
行革本部評価	総合評価		評価理由・意見
	□ 繼 続	□ 改 善	
	□ 縮 小	□ 廃 止・休 止	